



リーマンショックがきっかけで、公務員の道を選んだ工藤亜実さん。入庁して6年、配属された営繕部は「計画から維持管理、解体」と建物の一生と付き合う仕事だ。施設を管理する責任が重い仕事だが、この仕事だからこそ出会いも多いと話す。得意分野を極めつつ、スペシャリストよりゼネラリストを目指す工藤さん。今後の目標などを聞いた。

● 技術職を選んだきっかけ

公務員を志望した理由は、いくつかありますが、景気に左右されにくい職場、というのが一番に挙げられます。リーマンショックを目の当たりにしていたので、先行きの不安を考えずに、仕事に打ち込みたかった。

仕事環境が数年ごとに異動（九州圏内）するのにも性に合っています。ものづくりに興味がありましたが、専門を極めるスペシャリストよりも、幅広い視野を持つゼネラリストが希望の私には、これほど適した仕事はありません。職員説明会で担当の方が「民間とは違い、最終判断が自分できるのがいい。」その言葉は強く記憶に残っています。それだけ責任もありますが、自分への挑戦になります。

● 現場の魅力や責務

現在は営繕職員として、公園内施設整備や道の駅の授乳室改修などに携わっています。営繕の仕事は、「計画↓設計・積算↓工事↓維持管理↓解体」という建物の一生に関わることができます。長く愛される建物を提供できるかは、自分たち次第。利用者の仕事、使われ方など、様々な視点で考え設計施工します。この仕事で知った特殊な部屋や仕事、それに関わる人々との出会いに、いつもワクワクします。

また、官庁施設は災害応急活動で使用されます。大事が起こった時、役に立つ施設を整備することも大きな責務のひとつです。

● 仕事のこだわりやポリシー

国民の共有財産である官庁施設として「安全・安心」で「親しみやすく便利で良いもの」を念頭に置いています。建築物は完全オーダーメイドと言われるゆえんですが、風土・地盤・使用用途によってそれぞれ違います。

担い手シリーズ 20

# スペシャリストより 幅広い視野を持つ ゼネラリストを目指す

工藤 亜実 入社6年目（建築設備係長）  
国土交通省 九州地方整備局  
国営海の中道海浜公園事務所



工藤 亜実（くどう あみ）  
福岡県出身。九州大学大学院芸術工  
学府。平成 27 年 4 月 国土交通省 九  
州地方整備局入庁。

勤務先  
国土交通省 九州地方整備局  
国営海の中道海浜公園事務所  
〒811-0321 福岡市東区大字西戸崎 18-25  
TEL. 092-603-1111 FAX. 092-603-1114  
<https://uminaka-park.jp/>

数式のように一つの正解がないところが難しいところでもあり、面白いです。設計者・施工業者・施設管理者・職場の同僚など様々な人と協力して、より良い建物を作っていきたいです。

● 印象的な仕事

熊本大震災の出来事は忘れられません。災害が起こった翌日の早朝には、諸先輩が被災地へ出発しました。被災建物の確認や災害対応に、日夜奔走されていたのを覚えています。私は入庁して2年目でしたので、現地までの地図や建物の図面印刷など、簡単なサポートしかできず自分の無力さを痛感しました。有事の際には頼りになる存在になりたい、そう強く感じました。

● 今後の目標

ゼネラリスト視線で、仕事に向かう姿勢はかわりません。今後は計画設計積算施工、建築電気機械といった広範囲の分野を幅広く身につけたいと考えています。ただ、キャリアを磨くには、得意分野を見つけることも大事。まずは、1級建築士試験に合格することが一番の目標です。  
尊敬する先輩たちから、仕事のノウハウはもちろん、地域とのつながり、仕事の取り組み方など教えていただきました。後輩にきちんとバトンタッチできるように、技術力と人間性を磨いていきたいと思っています。